

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	当院における大腿骨近位部骨折患者の再骨折予防の現状と今後の課題
研究責任者	伊藤英也
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	<p>大腿骨近位部骨折を受傷された患者さんに対して、再骨折を予防する関わり的重要性が求められています。当院でも、骨折後の骨粗鬆症の治療が継続でき、再骨折を予防できるよう多職種チームで取り組みを始めました。</p> <p>私たちの活動を評価をするためにも、まずは当院における大腿骨近位部骨折の治療を受けられた患者さんの再骨折予防に向けた検査や治療の実施状況を把握する必要があります。</p> <p>本研究を通して課題を明確にすることで、治療や検査、看護を体系化し、より質の高い医療につながり、骨折の連鎖を止めることができるよう臨床研究を行っています。</p>
研究方法	<p>【研究の対象となる方】 2022年1月～12月までに、当院で大腿骨近位部骨折(病気によるものや交通事故などが原因の場合は除きます)の治療を受けられた患者さんです。</p> <p>【研究に利用する情報等】 患者背景(受傷時の年齢、性別、疾患名、受傷日、受傷の経緯、合併症)、骨粗鬆症に関する検査データ(骨密度、骨マーカー)、骨粗鬆症の治療の開始の有無、骨粗鬆症の治療に使用されていた薬剤、薬物治療の継続状況、栄養指導を受けられたかどうか、リハビリの介入の有無、再骨折の有無、退院後の療養先について、診療記録より情報を収集します。</p> <p>【個人情報保護】 収集する情報からは、個人が特定できないように暗号化して個人情報を処理します。また、得られたデータにはパスワードをかけ、書類は鍵付きの場所で保管いたします。研究の結果は保管庫にて5年間保管し、期限を過ぎた後は裁断して再現不能な状態で廃棄いたします。 この研究によって得られた結果について、学術雑誌や学会で報告する場合、お名前や個人を特定できるような個人情報が公開されることは一切ありません。</p> <p>研究の対象となる方(または代理人の方)で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、また、この研究に情報を利用することに了承できない場合はお断りしていただくこともできますので、下記の”問い合わせ先”へご連絡ください。お断りになっても、患者さんへの不利益は一切ございません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：スミス美保子 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>